【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年5月2日(2025.5.2)

【公開番号】特開2024-171958(P2024-171958A)
【公開日】令和6年12月12日(2024.12.12)
【年通号数】公開公報(特許)2024-233
【出願番号】特願2023-89335(P2023-89335)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月23日(2025.4.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動作可能に構成される動作手段を備えた遊技機において、
弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、
前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体が変位され得るように構成され、
少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、
前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、
前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、
少なくとも前記作用部の作用により変位される前の前記変位体を前記所定領域に維持し得るように構成される構成手段を備え、
少なくとも前記作用部が前記変位体に作用される前において、前記窓部を通じて遊技者に視認されない領域に前記変位体が位置され得るように構成され、
前記動作手段が、所定の区間で第１方向と前記第１方向とは反対の第２方向とに繰り返し動作され得るように構成され、
前記変位体が前記作用部の作用により変位される場合に、前記変位体が前記作用部から離れる態様で変位され得るように構成されることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
動作手段の作用部が変位体に作用されると変位体が変位され得る遊技機が知られている（特許文献１）。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２０２２－１０９３２６号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
しかしながら、上述した従来の遊技機では、変位体の変位に関して改善の余地があるという問題点があった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、変位体の変位に関して好適とできる遊技機を提供することを目的とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、動作可能に構成される動作手段を備えたものであり、弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体が変位され得るように構成され、少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、少なくとも前記作用部の作用により変位される前の前記変位体を前記所定領域に維持し得るように構成される構成手段を備え、少なくとも前記作用部が前記変位体に作用される前において、前記窓部を通じて遊技者に視認されない領域に前記変位体が位置され得るように構成され、前記動作手段が、所定の区間で第１方向と前記第１方向とは反対の第２方向とに繰り返し動作され得るように構成され、前記変位体が前記作用部の作用により変位される場合に、前記変位体が前記作用部から離れる態様で変位され得るように構成される。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００７】
請求項１記載の遊技機によれば、変位体の変位に関して好適とできる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】１３８９６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【１３８９６】

Ｈ１０	パチンコ機（遊技機）
Ｈ１４ｅ	窓部
Ｄ４１１８	下側案内部（構成手段）
Ｄ１２０，Ｄ２１２０，Ｄ３１２０，Ｄ４１２０	上側揺動手段（変位体）
Ｄ１３０	下側揺動手段（変位体）
Ｄ１４３ｂ２	突設部（作用部）
Ｄ１４７ｂ	突設部（作用部）
Ｄ１５３ｂ２	突設部（作用部）
Ｄ１５７ｂ	突設部（作用部）
Ｄ１４３	第１正面カム（動作手段）
Ｄ１４７，Ｄ２１４７	第２正面カム（動作手段）
Ｄ１５３	第１正面カム（動作手段）
Ｄ１５７	第２正面カム（動作手段）
Ｄ１８１	上側バネ（弾性手段）
Ｄ１８２	下側バネ（弾性手段）
Ｄ２１８３	付勢手段（弾性手段）